

#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1441) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



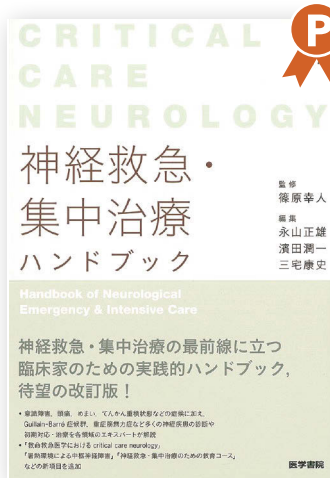
ビビらず当直できる 内科救急のオキテ

坂本 壮=著

本体 3,600 円 + 税 / A5 判・180 頁 / 医学書院 / 2017

本誌連載「西伊豆発! 画像読影道場」(p.1413) の一員でもある坂本先生の最新刊! 細部までこだわりのある虎の巻。

ひとり当直でも大丈夫! 必要なのは「いま何をやるべきか」の正しい“判断”。外傷救急患者においても、原因が内科疾患であることは珍しくない。将来何科に進もうとも、避けて通れない当直にあっては、原因として多い内科疾患の救急対応は誰もが身につけておく必要がある。本書の「帰してはいけない患者を見逃さないための5つのポイント」と15の症例をベースに、救急外来に必要な考え方と正しい判断力を!



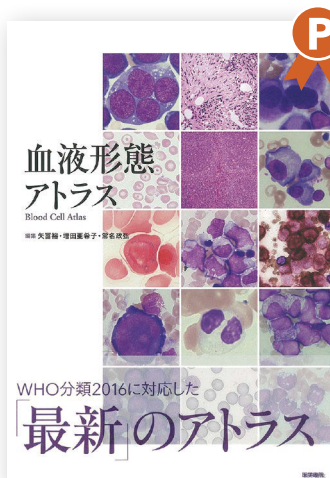
神経救急・集中治療ハンドブック Critical Care Neurology 第2版

篠原幸人=監修

永山正雄、濱田潤一、三宅康史=編

本体 6,000 円 + 税 / A5 判・672 頁 / 医学書院 / 2017

神経救急・集中治療の最前線に立つ臨床家のための実践的ハンドブックの待望の改訂版! 意識障害、頭痛、めまいなどの症候に加え、脳梗塞、重症筋無力症などの神経疾患の鑑別診断や初期対応・治療を、各領域のエキスパートが解説。「救命救急医学における critical care neurology」「暑熱環境による中枢神経障害」「神経救急のための教育コース」などの新項目を追加。

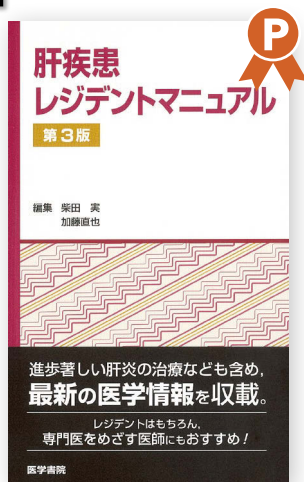


血液形態アトラス

矢富 裕、増田亜希子、常名政弘=編

本体 5,800 円 + 税 / B5 判・328 頁 / 医学書院 / 2017

多種多様な血液疾患をシンプルかつ正確にまとめたアトラスが登場。好評だった『検査と技術』(Vol.43 No.10、2015 年増刊号)の「血液形態アトラス」が、待望の書籍化。WHO 分類 2016 に対応し、増刊号では掲載できなかった疾患も多数追加。多種多様な血液疾患をシンプルかつ正確にまとめた、初学者の指南書としても、血液疾患臨床に関わる多くのメディカルスタッフにも必携の1冊。



肝疾患レジデントマニュアル

第3版

柴田 実、加藤直也＝編

本体 4,500 円＋税／B6 変判・308 頁／医学書院／2017

基本コンセプトは、研修医をはじめ経験の浅い若手臨床医にとって、真に役立つ知識をコンパクトにまとめること。今版では、専門医取得を目指す臨床医にも広く読んでもらうことを想定し、基本的なことや教育的な内容には多くのページを割かず、読者が本当に知りたいこと、最新知見を効率よく学ぶことができることに力点を置いた。臨床現場においても、昨今の肝疾患診療の知識の整理に、ぜひご活用いただきたい。



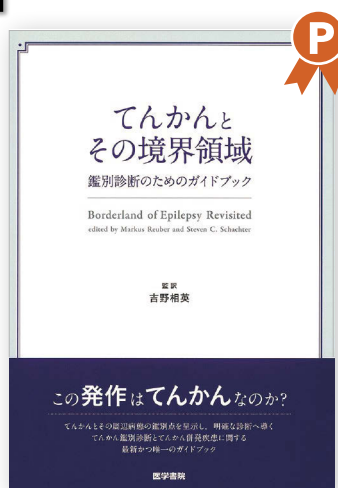
外科レジデントマニュアル

第4版

松藤 凡、山内英子、岸田明博、鈴木研裕＝編

本体 3,800 円＋税／B6 変判・352 頁／医学書院／2017

外科研修医に必携のマニュアルとして好評を博してきた『外科レジデントマニュアル』の改訂第4版。安全でミスの少ない診療のために必要な知識の確認が短時間でできるという基本理念は踏襲。本版は研修制度の変更に伴い、各論では専門性を高めた記述としたが、術前術後管理、基本的外科手技などの外科のベーシックを押さえた内容は、初期研修にも存分に活用できるものとなっている。



てんかんとその境界領域

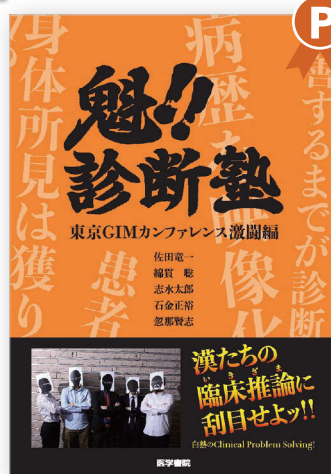
鑑別診断のためのガイドブック

Markus Reuber、Steven Schachter＝編

吉野相英＝監訳

本体 10,000 円＋税／B5 判・344 頁／医学書院／2017

てんかん診療に携わる医師の悩みは、てんかん発作と非てんかん性発作の鑑別。本書は、2012年に Oxford University Press から出版された『Borderland of Epilepsy Revisited』の全訳。てんかんとその周辺病態の鑑別点を呈示し、明確な鑑別診断へと導く1冊。具体的な症例が多数紹介され、てんかんと境界領域への理解を助ける。てんかん鑑別診断とてんかん併発疾患に関する最新かつ唯一のガイドブック。



魁!! 診断塾

東京 GIM カンファレンス激闘編

佐田竜一、綿貫 聡、志水太郎、石金正裕、忽那賢志＝著

本体 3,500 円＋税／A5 判・272 頁／医学書院／2017

雑誌『medicina』の人気連載がついに書籍化！ 東京 GIM カンファレンスで実際に提示された症例に挑むのは、某名作漫画を愛する 5 人の医師（本誌連載みるトレ Special の忽那先生、佐田先生が一員。p.1393）。“一筋縄ではいかない”症例に出会った時、一流の臨床医は何を考え、どう診断にたどりつくのか？ clinical problem solving 形式でその流れを追体験し、診断力を鍛えよう！ 連載時の内容にワンポイント解説を加筆し、さらに診断の原則をレクチャーする「塾生心得九カ条」、巻末にはホンネが乱れ飛ぶ“あとがき座談会”を新規収録した、“たのしくて（診断力が）つよくなる”一冊。